

命、半が張スズキ



京都芸術大学内
京都芸術劇場
春秋座

京都市民・市内の学校に通う学生
観劇無料!

松尾スズキ
作・演出



- 山川豹真
- 八上悠華
- 三井春花
- 松浦輝海
- 藤村梨那
- 丹野麻仁
- 田中愛乃
- 末松簡香

みんな夢の中。



2月25日(日)午後2時開演

一般チケット料金(予約・当日券共通)500円

松尾スズキリアルワークプロジェクト発表公演

<京都芸術大学 芸術教養センター 社会実装プロジェクト>
松尾スズキリアルワークプロジェクト発表公演

京都芸術大学の学生 × 松尾スズキ

35年ほど芝居をやってきましたが、初めて大学の学生たちと演劇を作りました。演劇を学んでいるものもいれば、文芸、映画、デザインを専攻しているものまで舞台にあげてしまいます。だから言ってしまうと純然たる素人と芝居を作ろうというのです。素人でもありZ世代でもある彼ら。初めはあまりの共通言語のなさに、戸惑い、あまりの体の弱さに心配し・・・気がつけば、東京に帰っても延々彼らのことを考え続けているのです。彼らがどうすればこの1年で「なにかをへて」「なにかをえて」くれるのか、あだこうだと思い、試行錯誤の日々でした。正直、苦しかった。それでも、思えば自分もデザイン学科の身ながら、大学時代演劇に出会い、そのおもしろさへのめりこみ、今があるわけです。ズブの素人でした。そう思えば、なにやら彼らが愛おしく、演劇のとてつもない魅力を少しでも感じてもらやあいいじゃないかと聞き直り、なんとかここまで清き着けました。自分が彼らを成長させられたのか、彼ら自分が成長させてくれたのか。それは、きっとおいおいこの先、わかってくるのだと思います。

本日は、おいていただき、ありがとうございます。

松尾スズキ

一年前、専攻も学年も異なるメンバーが稽古場に集まった。……松尾スズキ??あ、靴下かわいい。期待と不安が入り混じる私たちに、松尾さんは「素人の時間をいかに濃く過ごすかです」という言葉をかけてくれた。毎月、特別講師をお迎えし松尾さんと共に発声やパントマイムを一つずつ教わる。また過去の上演映像の分析にも取り組み、稽古を重ねた。だんだん知る、松尾さんの凄さ。だんだん気付く、演劇の難しさ。観劇離れ世代の当事者にある私たちは、この「演劇」が詰まった作品にどう向き合えばいいのか。未だに正解は分からない。しかし「分からない」に一年間のたうちまわった結果、不思議に現実味をもつ光景が浮かび上がってきた。まだ夢半ばの私たちが、50代や80代の「命」を描こうとする。そんな葛藤と奮闘をぜひ観に来てください。

学生一同

終演後、学生による本プロジェクトを振り返るトーク企画あり。



松尾スズキ(作・演出)

1962年、福岡県生まれ。1988年に大人計画を旗揚げし、多数の作品で作・演出・出演を務める。1997年「ファンキー!〜宇宙は見える所までしかない〜」で第41回岸田國士戯曲賞を受賞。2008年には映画「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」で第31回日本アカデミー賞最優秀脚本賞受賞。小説「クワイエットルームにようこそ」「老人賭博」「もう「はい」としか言えない」が芥川賞候補になるなど、作家としても活躍。2019年に上演した「命、ギガ長ス」が第71回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞。2020年にBunkamuraシアターコクーンで芸術監督、2023年に京都芸術大学舞台芸術研究センター教授に就任。

京都芸術劇場 春秋座

京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都芸術大学内

◎ 観山電車「茶山・京都芸術大学駅」下車 徒歩約10分
◎ 京都市バス204・5・3系統「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学」下車

※ 駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

チケット (自由席・要事前申込)

京都市民/京都市内の学校に通う学生 **無料**
一般チケット料金: 500円(友の会・予約・当日券共通・税込)
予約受付開始日: 1月17日(水) 10:00~

申し込みはコチラ <https://k-pac.org/events/11534/>

※チケットは公演当日、開演1時間前から引き換え可能です。受付順での入場となります。
※車椅子をご利用のお客様は、京都芸術大学舞台芸術研究センターまでお申し込み、お問合わせ下さい。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

託児サービス ※要事前予約

申込期間: 1月17日(水) ~ 2月16日(金) 17:00まで
対象: 生後6ヶ月 ~ 7歳未満 料金: お子様1名に付き1,500円
予約: 京都芸術大学舞台芸術研究センター (TEL 075-791-9207)

STAFF.

[演出補] 林慎一郎 [演出助手] 入江拓郎・山田翠 [舞台監督] 田淵憲崇
[演出部] 海老澤美幸 [舞台美術コーディネーター] 夏目雅也 [照明] 脇坂就二
[音響] 寺坂素直 [衣装] 大野知英・工藤亜里紗 [ヘアメイク] 須山智未・井上玲菜
[記録] 面高真琴・土澤あゆみ [制作統括] 安藤善隆 [制作] 吉田和陸・後藤孝典・出尾美貴

学生STAFF.

[演出部] 八上心寧 [舞台美術] 田中愛乃・松浦輝海 [音響] 田中愛乃・丹野琳仁
[衣装/ヘアメイク/小道具] 末松萌香・三井春花 [宣伝美術] 山川豹真
[制作] 藤村菜那 [広報宣伝] 末松萌香・三井春花・山川豹真

【出演】
末松萌香
田中愛乃
丹野琳仁
藤村菜那
松浦輝海
三井春花
八上心寧
山川豹真
(サポートメンバー) 等々力静香



80代で認知症気味の母親・エイコと、50になっても二丁目でアルコール依存症の息子・オサム。そんな彼らの貧しい生活を撮影しようと、ドキュメンタリー作家志望の芸大生・アサタがやってくる。カメラに映るのは、ろまの棒ばかり食べる陽気なエイコと、母の少ない年金を頼りに酒浸りの生活を楽しんでいるオサム。アサタは2人の本心を掴めなことに悩むが、ある夜、教授キシとの関係を介して、この親子の秘めたる実態に迫る。

2024.2.25(日)
14:00
※開場は開演の30分前



ふるさと納税を活用した大学における地域連携等推進事業補助金により、京都市民もしくは京都市内の学校に通う学生は無料となります。公演当日、受付で住所が記載された身分証明書(免許証や保健証など)または学生証をご提示ください。

